

平成26年度 新居関所史料館運営委員会議事録

- 1 日 時 平成27年2月24日（火） 午後1時30分～午後3時
- 2 場 所 湖西市民会館3階 第2委員会室
- 3 出席者 委 員 渡辺 和敏委員 平野 克典委員 牧野 茂委員
(欠席) 跡見 厚夫委員 吉村 理利委員
事務局 後藤 建一（文化課長） 切池 融（文化課課長代理）
尾崎 正浩（文化財係主任） 嶋村 麻衣（文化財係主事）
- 4 議 題 ①平成26年度関所史料館事業報告について
②平成27年度文化財関係事業について
③湖西市内の文化財について
④その他
- 5 公開・非公開の別 公開（傍聴人なし）

【議 題】

①平成26年度関所史料館事業報告について

※事務局より平成26年度関所史料館の活動内容及び入館者数等について説明

（委員） いろんな感想はある。少ない人数でよくがんばっている。もう一工夫もあってもいいのかなと思ったりもする。5月と11月に入館者が多いが、季節的なものなのか。

（事務局） 11月3日は文化の日で例年の開館記念日で、2日は泉町発展会によるイベントがあり、2、3日と無料にした。5月は3～5日の3日間は入館者が多い。

（委員） 紀伊国屋の3月1日のひなまつりイベントはどんなことを行っているのか。

（事務局） イベントということでは甘酒のサービス、折り紙の体験教室を行っている。

今年は白須賀ウォークと重なるので甘酒のサービスだけにする予定である。

（委員） 入館者の集計の仕方だが、年度途中にある委員会にあわせ入館者の集計を行うので年間の入館者数がわからない。

（事務局） 毎年この時期に委員会を行っており中途半端なので、年度明けに年間の入館者数を掲載するようにしたい。

（委員） 年間の入館者数もそうだが、過去との比較が出来るように工夫してほしい。

（委員） それに関連して、入館者の表に加えて過去5年とか10年とか折れ線グラフで入れてもらおうと一目瞭然となる。作業量が増えるので職員は大変とは思いますが、資料調査などは行っているのか。

（事務局） 本来であれば職員2名にし、資料調査にも力を入れたいが、なかなか職員の確保が難しい。職員1名、臨時1名、あとはシルバーから数名派遣してもらって今の形に落ち着いている。今でも展示等で人が必要な場合にはこちらから応援している状態である。収蔵資料の整理までは手が届いていないので、ちゃんとしていきたいという考えはある。

(委員) 他のところの事例はあまり言わないほうがいいかもしれないが、二川宿本陣資料館は専任職員だけで5, 6人いる。それに比べてここは少ない人数でよく頑張っている。

(事務局) 先の話だが関所の整備がある程度進んでくると、施設の管理も増えてくるので考えていかないといけないと思っている。企画展の内容もほとんど担当に任せているが、長年やっていると展示内容を考えるのが大変である。

(委員) 展示を考えるのは大変である。10年周期で少しずつ改良していくとか、他の博物館から借りてきてやれば楽で人も入るが、お金もかかる。いずれにしても入館者数はもっと工夫して、過去までさかのぼって表示すれば比較もできるし、どのような内容の展示の入館者が多いのかもわかる。

②平成27年度文化財関係事業について

※事務局より平成27年度の文化財関係事業、関所史料館事業について説明

(委員) 湖西中学校の郷土学習室は湖西中の生徒だけを対象としているのか。

(事務局) 今のところは湖西中学校の生徒を対象にしている。学校施設であり制約もあることから、湖西中学校の生徒への教材利用として活用することになる。

(委員) いろいろな制約があると思うが、できれば湖西の歴史が分かるような収蔵展示のような形でもいいと思う。

(委員) 湖西中学校の郷土学習室の整備で実物を手に触れるような展示を考えたいという話したが、たとえば民具の展示などでも興味が持てるように直接体験できるようなことができるといい。

(事務局) 委員の指摘のように見るだけでなく、手に触れることが出来るような展示を取り入れていきたい。どういう展示になるかわからないが、今回展示して終わりではなく、いろんな意見を聞きながら改善し、先々に活かしていきたい。

(委員) 新居関所の裏の広場の整備はどうなるのか。

(事務局) 図面を見ていただくとわかるが、土蔵を復元する予定になっている。そのほかは地盤の舗装程度となる。計画では土蔵に納めた資料のレプリカの展示や、一部映像資料の視聴スペースを考えている。

(委員) 現在大御門を整備中だが、例えば中之郷のほうから駅へ行く場合、門を歩いて行くようになれば関所の中へは入れないようにすると思うが、現時点ではそのようになっているように見えるが。

(事務局) 現在工事中でわからないが、管理用の柵で区画するようになる。本来あった柵ではないので、造りなどは違う構造になる。門をくぐった左手に関所構内へ出入りできるスライド門扉を造る。

(委員) 市民の中には国道の南側の歩道を通って駅のほうへ行くと思っている人もいるが。そうではないということによいか。

(事務局) 大御門の下が歩道になるので、関所側の歩道も広くするように整備している。

③湖西市内の文化財について

※事務局より湖西市内の指定文化財及び文化財物件一覧について説明

(事務局) 追加でいうと、この中の一部はすでに消滅しているものもある。湖西地区にある候補物件を示したもので、すべてが対象というわけではなく物件としてあげたものである。

(委員) 文化財マップとあわせてみると、やはり湖西地区においては若干の精粗がみられる。文治4年の棟札は一度見てみる価値はある。

(委員) 天然記念物については指定しているものしかないか。

(事務局) 新居にある東福寺のマキと諏訪神社のケヤキ、湖西市のマンサク、県指定のトキワマンサクくらいか。天然記念物については難しいものがある。湖西連峰の山野草について以前に調べたことがあるが、指定の有無以前に場所を明らかにするとあらされることがある。ただ大きいだけでは指定の案件にはならない。相当の年数があれば別だが。

(委員) こういうリストを出していただいて非常にありがたい。今後、この中から絞り込んで実際にみてもらったりして充実させていったほうがいい。

(委員) 建物は登録とかしておかないと壊されてしまう。

(委員) 壊されはしないと思うが、登録より指定でもいいと思う。

(事務局) 市の場合だとゆくゆくは指定をしたほうがよく、登録というと中途半端な感じがしないでもない。

(委員) 登録にしとけば中を使えることが出来るが、指定だと用途変更が出来なくて使い勝手が悪い。登録は指定の前段階で、一般にこういうのがあると周知するものだと思う。結構一般には登録のほうが国の登録ということで、指定よりは立派だという感じがある。

(委員) いろいろ意見を出していただいたが、その他何かないか。ないようなので終了する。

(午後3時終了)